

【第4報】2008年5月20日現在

ミャンマーのサイクロン被害に関するUNHCRの緊急支援
5月20日現在の最新情報とご支援のお願い

UNHCRは、ビニールシートを 14,400 世帯、毛布を 9,840 世帯、蚊帳を 9,800 世帯、調理器具セットを 9,150 世帯に配布しました

関係各位

ミャンマーでのサイクロン被害に対し、UNHCRは、被災者約25万人分(5万世帯)のシェルター提供を担当し、一日も早く衛生環境を整え、被害を最小限に食い止めるために救援活動にあたっています。

UNHCRは、紛争や迫害といった人的災害に対応する国連機関ですが、90年代初めからミャンマー国内に拠点を置き、同国北西部からバングラデシュに流出したイスラム系住民や、同国東部からタイ側に避難しているカレン族等の難民問題への解決に努力しています。今回の自然災害をうけた救援活動はUNHCRにとって例外的なものです。2008年5月4日に、ミャンマー政府からUNHCRヤンゴン事務所に支援の要請が寄せられて以来、ミャンマーにある国連諸機関による合同緊急対応チームの一員として、ただちに救援活動を行っています。

5月16日時点で、ビニールシートを14,400世帯、毛布を9,840世帯、蚊帳を9,800世帯、調理器具セットを9,150世帯に配布しました。特に、ビニールシートは、雨や強い日差しから身を守り、病気の蔓延を防ぐ対策として、衛生面でとても大切な役割を果たしています。1世帯に2枚配布するために、今後さらに3万枚のビニールシートが必要です。ドバイからミャンマーまでの援助物資の空輸は、現在第7便まで計画されています。生理用品10万個と石鹼30万個は、現地調達して配布されることになっています。

さらにUNHCRは、キャンプ地の設営についてのトレーニングを、ミャンマーの社会福祉省で仮設住居建設を担当する職員に対して行う予定です。

また、UNHCRのチームは、被災地域に活動拠点を設けるために、エヤワディ管区のLabuttaとBogaleに向かって出発しました。ヤンゴン地区では連日、状況を把握するために、UNHCRスタッフが現場の視察に出向いています。人道支援の観点から、皆様の迅速なご支援をお願いいたします。



【写真上】
UNHCRのビニールシートで
屋根を修理する被災者

【写真下】
救援物資を待つ人々
(写真: UNHCR)

認定NPO法人 日本UNHCR協会
事務局長 根本かおる

【重要】UNHCRは、中国・四川の大地震を受けて、テント11,000張を提供することになりました。この活動におよそ5億円が必要となり、皆様からのご寄附を受け付けています。

ご寄附のお振込先

郵便局：口座番号 00140-6-569575 加入者名 UNHCR協会
*通信欄に「ミャンマー サイクロン被害」とご明記下さい。
*振込み手数料は「加入者負担」です

銀行：①三菱東京UFJ銀行 青山支店 普通口座 5251034
②三井住友銀行 渋谷駅前支店 普通口座 3478195
口座名：(①・②とも) UNHCRキョウカイ

ホームページからも簡単にご寄附いただけます。

<http://www.japanforunhcr.org/>

*ご寄附は、寄附金控除の対象となります。

※当緊急支援に必要な資金を上回るご協力をいただいた場合、ミャンマー国内およびミャンマー難民の援助活動に充当させていただくことがありますので、何卒ご了承ください。

特定非営利活動法人

日本UNHCR協会

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-70 国連大学ビル(UNハウス)6F

Tel 03-3499-2450 Fax 03-3499-2273 Email info@japanforunhcr.org

www.japanforunhcr.org